

ウェルウォーク通信

～ツカザキ病院様 歩行予後予測を活用した取り組み～

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。
今回は、ツカザキ病院様の取り組まれている予後予測の活用についてご紹介致します。



当院ホームページQRコード

社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院（兵庫県姫路市）

病床数：急性期～回復期 404床（急性期366床、回復期38床）

セラピスト人数：PT63名、OT35名、ST13名

ウェルウォーク（以下、WW）実施可能セラピスト：18名 WW導入時期：2018年10月導入

当院の特色：急性期からWWを開始し、回復期まで連続して積極的にWW練習を実施（週6～7日）

片麻痺患者における歩行予後予測チャート（WW開始評価から監視歩行獲得予測の決定木：下図）※

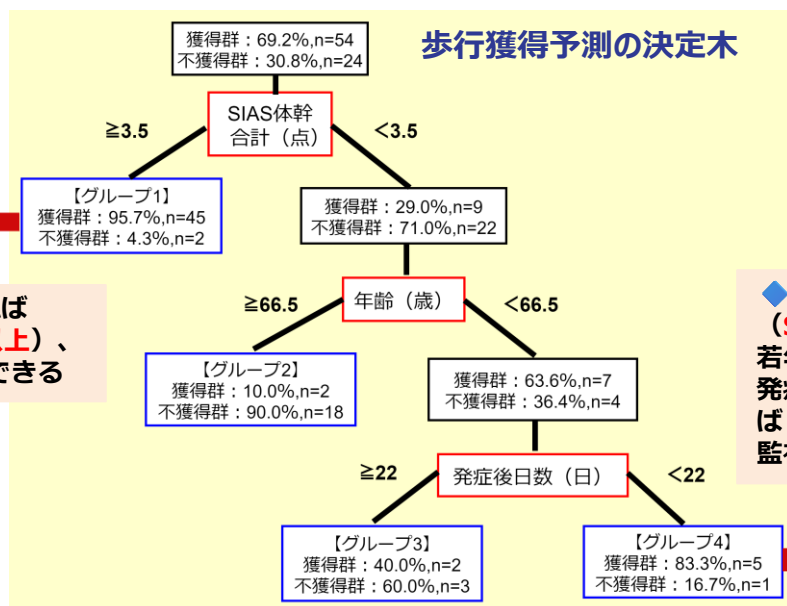
※ ウェルウォークを実施した脳卒中片麻痺患者における歩行予後予測因子についての検討—決定木分析による検討—
理学療法科学 2025;40: 34-41. 池上 滉一, 餅 脩佑, 船引 啓祐, 中谷 友哉.

◆ 当院でのWW開始基準

- ・主治医よりWW練習許可、急激なバイタル変動・疲労度増大がない
- ・長下肢装具を使用した平地歩行練習が、介助量を問わず1日20分可能になった時点

◆ 当院でのWW適応基準

- ・平地歩行練習時に膝折れを生じ長下肢装具が必要
- ・FIM理解3点以上
- ・合併症や急性期治療の制限なし（輸液ライン管理なし）
- ・重度の高次脳機能障害なし



WW管理担当者のコメント（理学療法士：池上滉一先生）

当院は若手セラピストが多く、歩行予後予測やWW継続判断が課題でした。経験や勘に頼らず客観的に判断できるよう、予測チャートを作成し次のような取り組みで臨床活用を進めています。①勉強会でチャートの理解を深める ②院内各所やWW本体に予測チャートの掲示 ③院内カンファレンスの共通ツールとしてリハ医も含めて運用するように実施しています。「誰が、いつ、どの場面で活用するか」を明確にすることが導入定着の鍵と考えています。今後も新たな予測チャート作成や既存ツールの改善を重ね、より効果的なWW運用を目指していきます。

予測チャートの実運用に向けた工夫

- ✓ チーム内研修で使い方の教育
- ✓ いつでも活用ラミネート化
- ✓ 院内カンファレンスで活用



ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.toyota.co.jp>